



南海化学株式会社 説明資料

2025年1月



東証スタンダード
(証券コード：4040)

- I** 会社概要
- II** 中期経営計画（2025/3～2027/3期）
- II** 2025/3期 中間期決算概要

会社概要

南海化学 = 電解 × 硫酸 × 環境
歴史の積み重ねと地場立脚を基盤に新たな成長を目指す

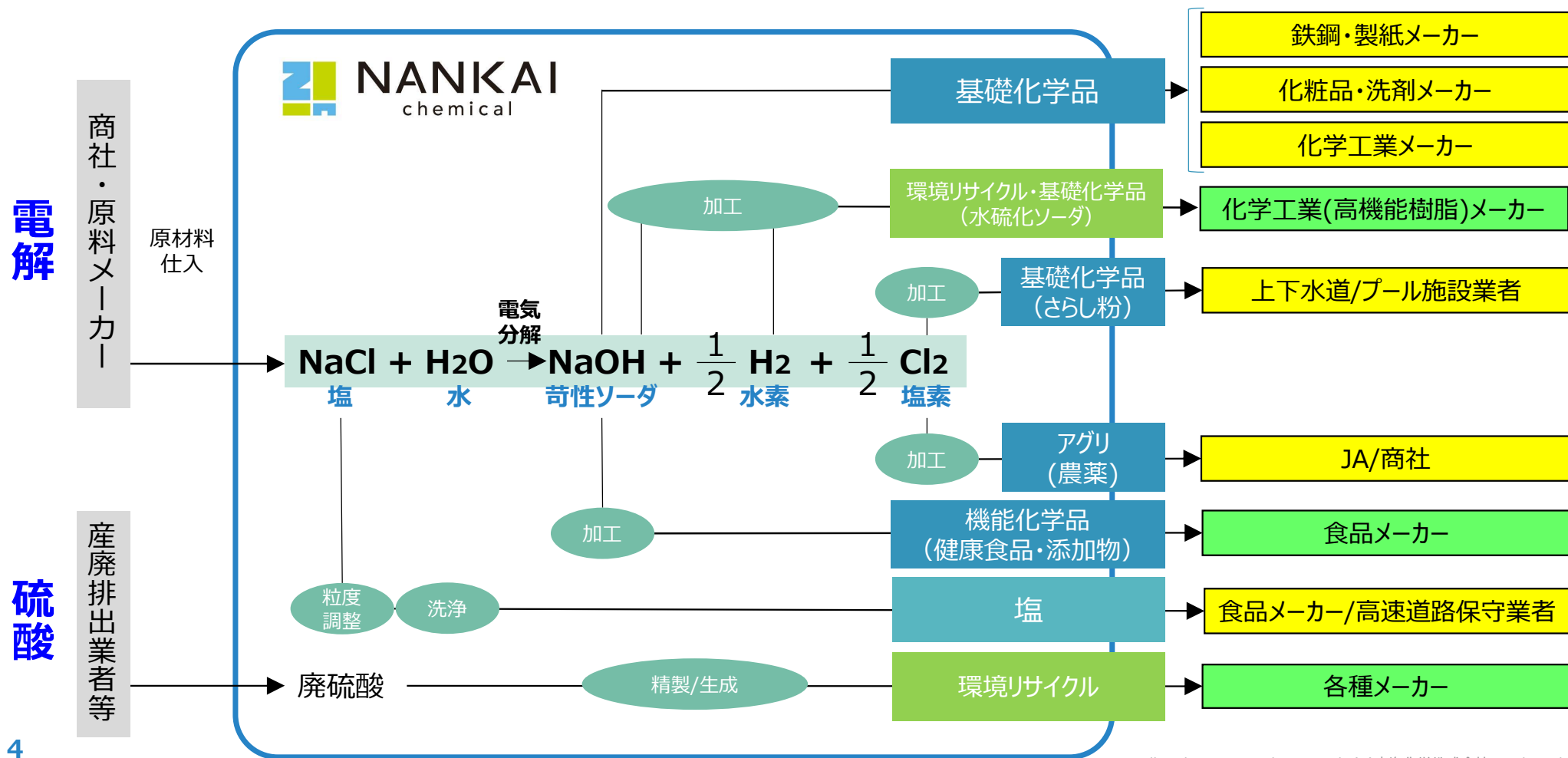
企業理念

「化学品事業を通じて、
地球環境と豊かな社会の創生に貢献する」



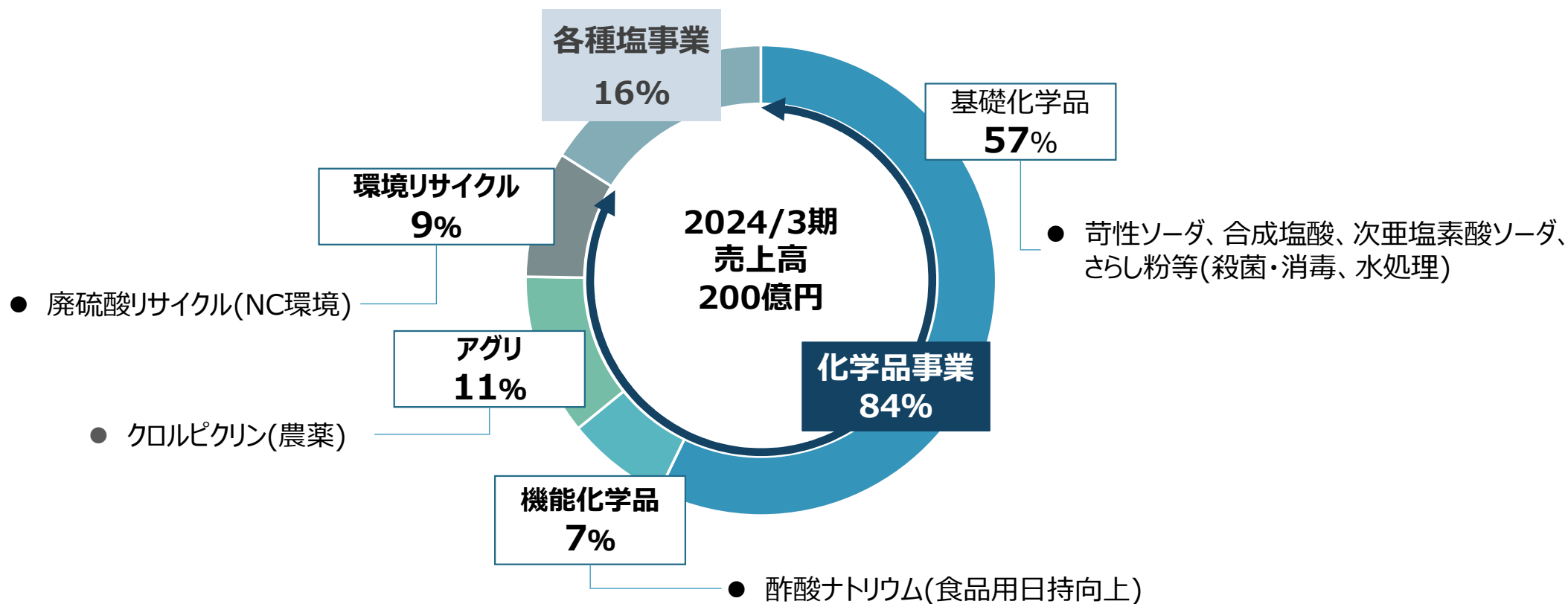
南海化学の社会・環境への価値提供

- 無限の海水を利用し、社会インフラ・産業インフラへの価値・環境負荷低減への価値提供



事業内容

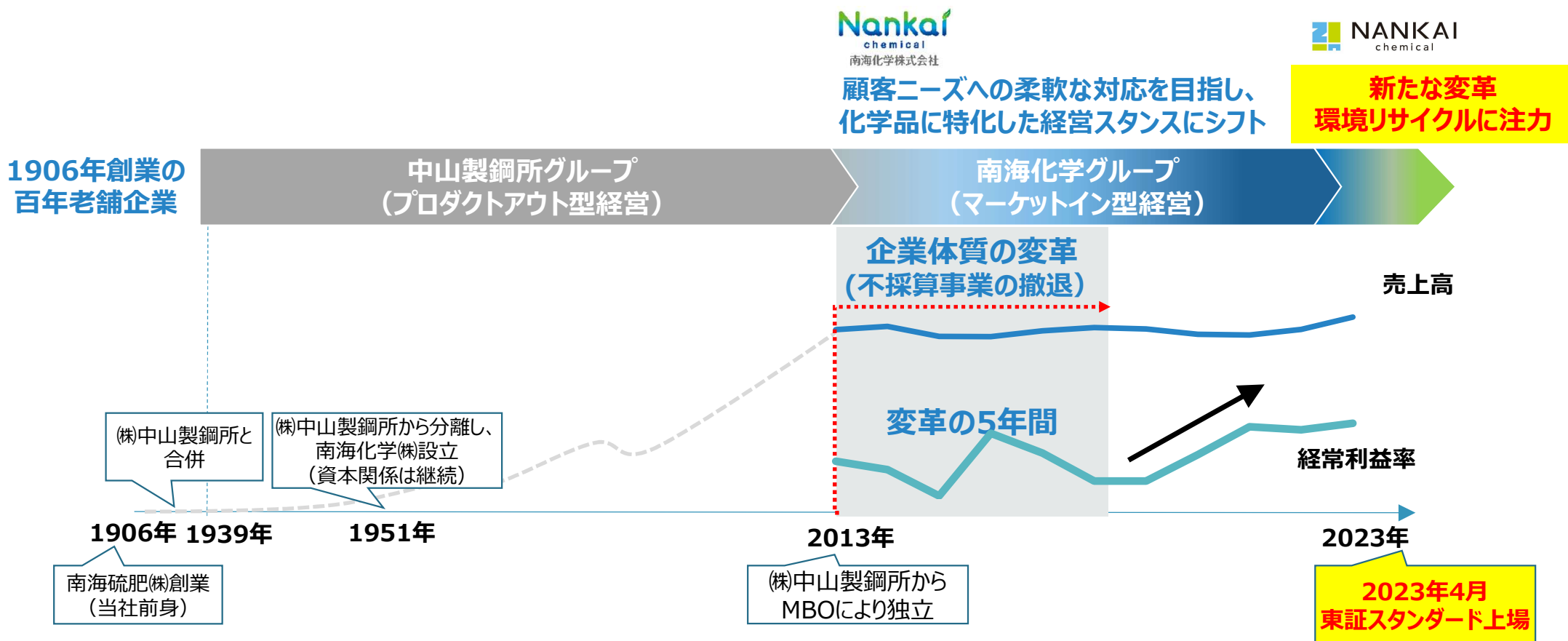
- 現状の事業セグメントは「化学品事業」と「各種塩事業」
- 幅広い事業領域と地場立脚が強み。今後の成長ドライバーは環境リサイクル事業





変革する100年企業

- 企業理念：化学品事業を通じて地球環境と豊かな社会の創生に貢献する
- 1906年創業の100年企業として産業・社会公共インフラを支える
- 今後の成長に向けた新たな変革として、環境意識の高まりを捉え環境リサイクル事業を強化

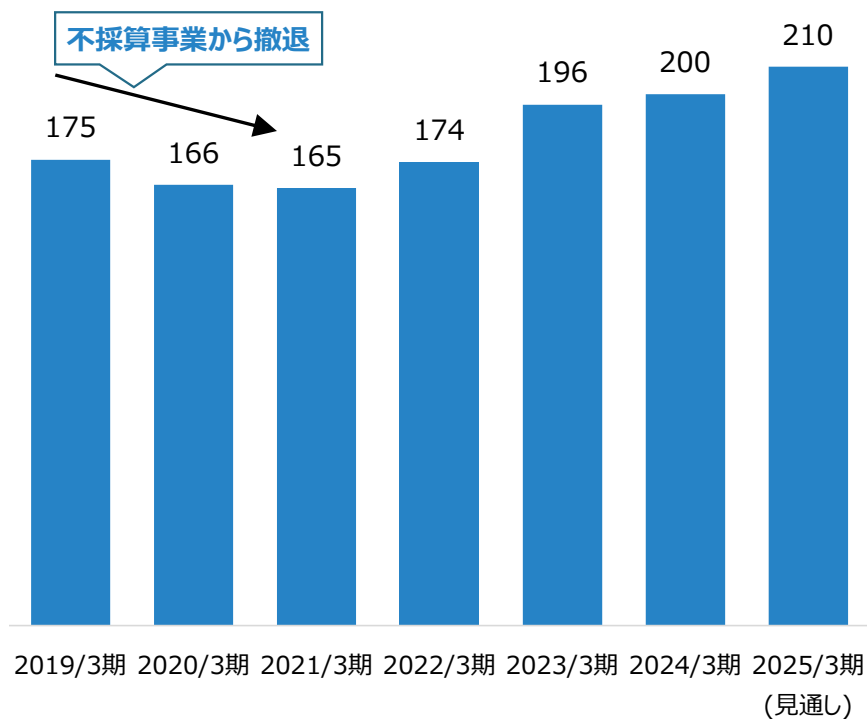


業績推移

- 不採算事業からの撤退により、売上至上主義から利益率重視に転換
- コロナ禍等、厳しい経済情勢変化の中でも着実に増収・利益率を改善

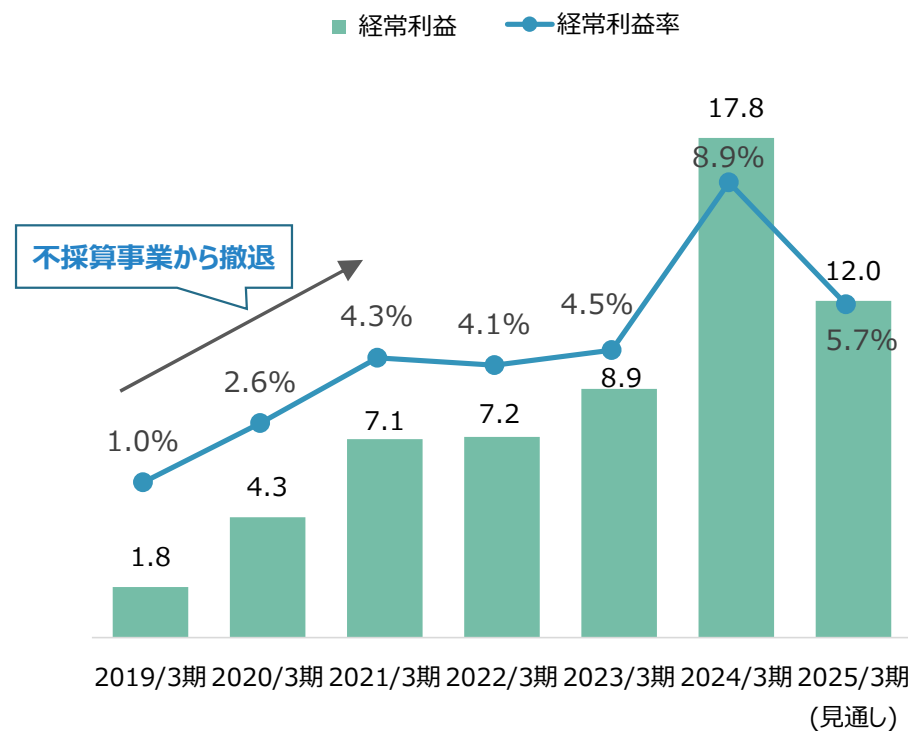
売上高

(億円)



経常利益及び同利益率

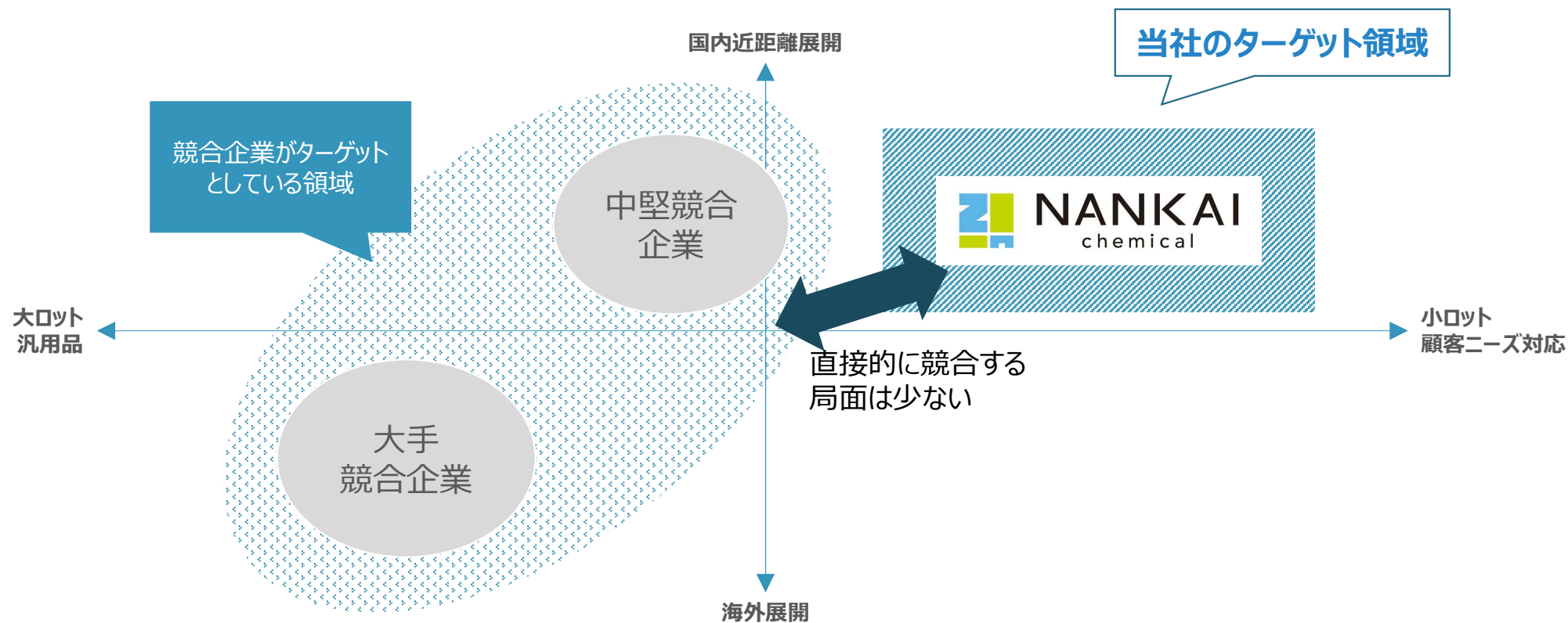
(億円)



戦略の差別化

- 他社とは異なる商品・地域戦略による存在感

苛性ソーダ市場におけるターゲット領域マップ°





和歌山工場、青岸工場～顧客と隣接した地場立脚の強み

- マザー工場である和歌山工場（電解×硫酸）は、化学や健康日用品工場に隣接

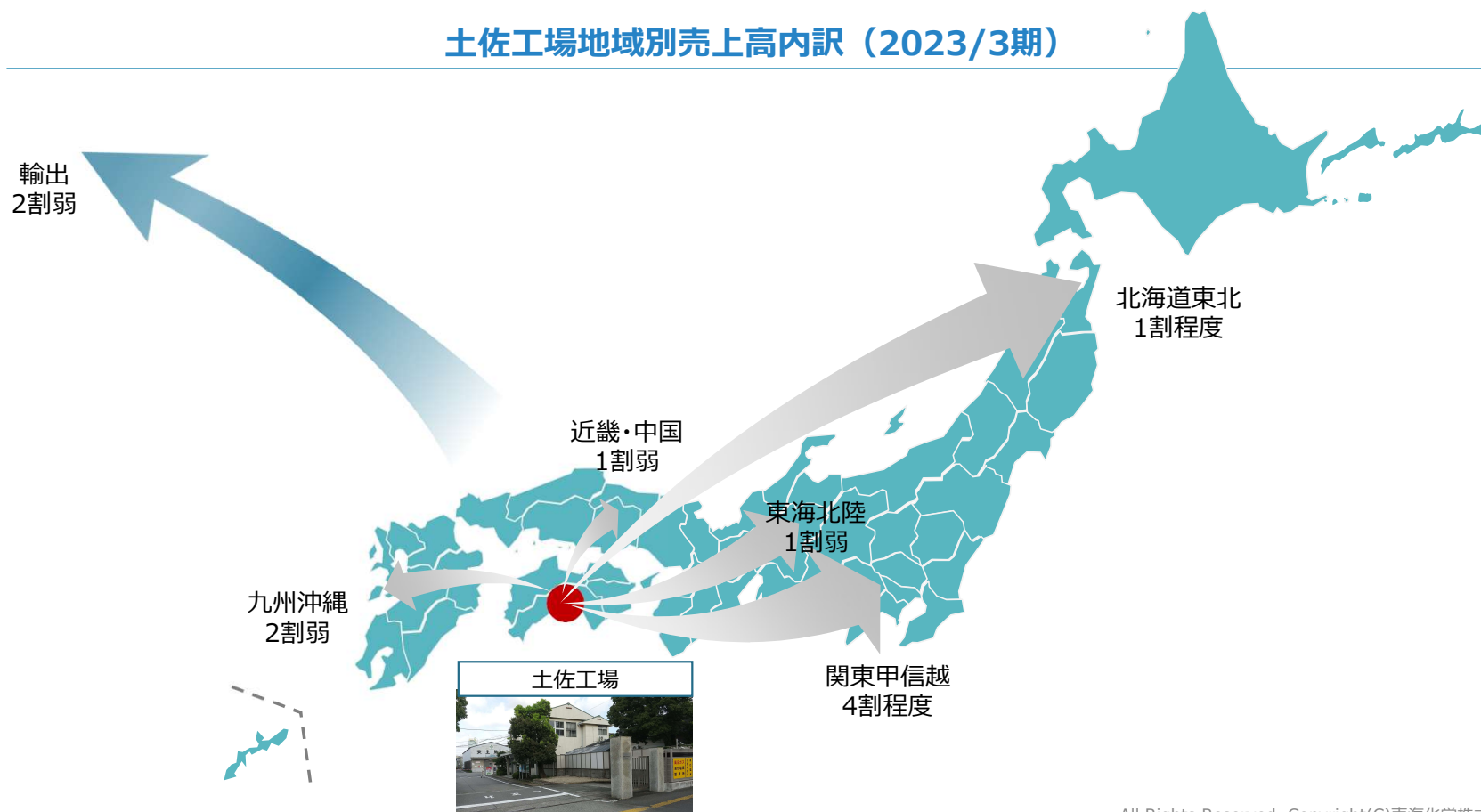


土佐工場（クロルピクリン/高度さらし粉）においては全国展開

- クロルピクリン（農薬・土壌消毒剤）と高度さらし粉（殺菌剤）の生産シェアは約40%*
- サプライヤーの数が限定的なため、顧客は全国に存在。底堅い需要に対応

（*日本ソーダ工業会、クロルピクリン協会資料より当社計算）

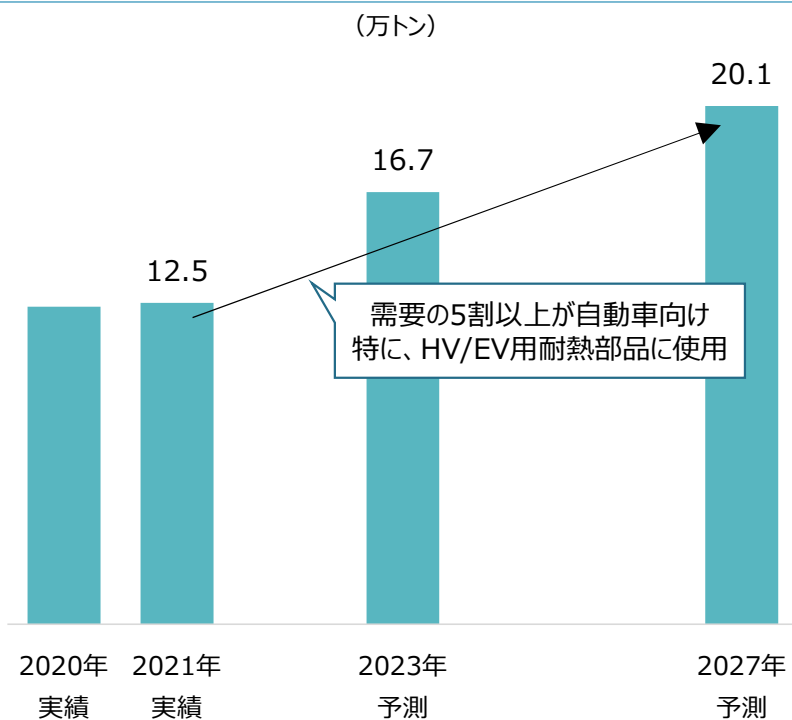
土佐工場地域別売上高内訳（2023/3期）



電解 × 硫酸 の強み事例：水硫化ソーダ

- 電解×硫酸、つまり自社製品である硫酸、苛性ソーダ、水素から水硫化ソーダを製造。
安定品質・安定供給に強み。
- 自動車軽量化により伸長するPPS樹脂。その原料として成長が期待

PPS樹脂の世界市場予測

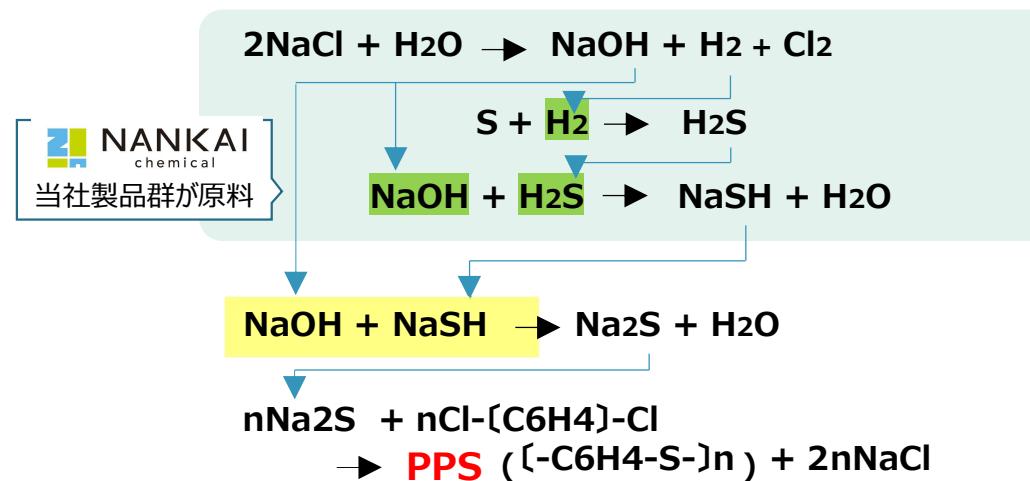
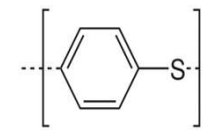


出所：株式会社富士経済「2023年エンブラ市場の展望とグローバル戦略（上巻）」（2022/10/19）

PPS樹脂製造の流れ

PPS (Poly Phenylene Sulfide)

- ✓ 熱可塑性樹脂の一種である、
高性能エンジニアリングプラスチック
- ✓ 耐熱性、難燃性、機械特性、寸法安定性、
耐薬品性に富む性質

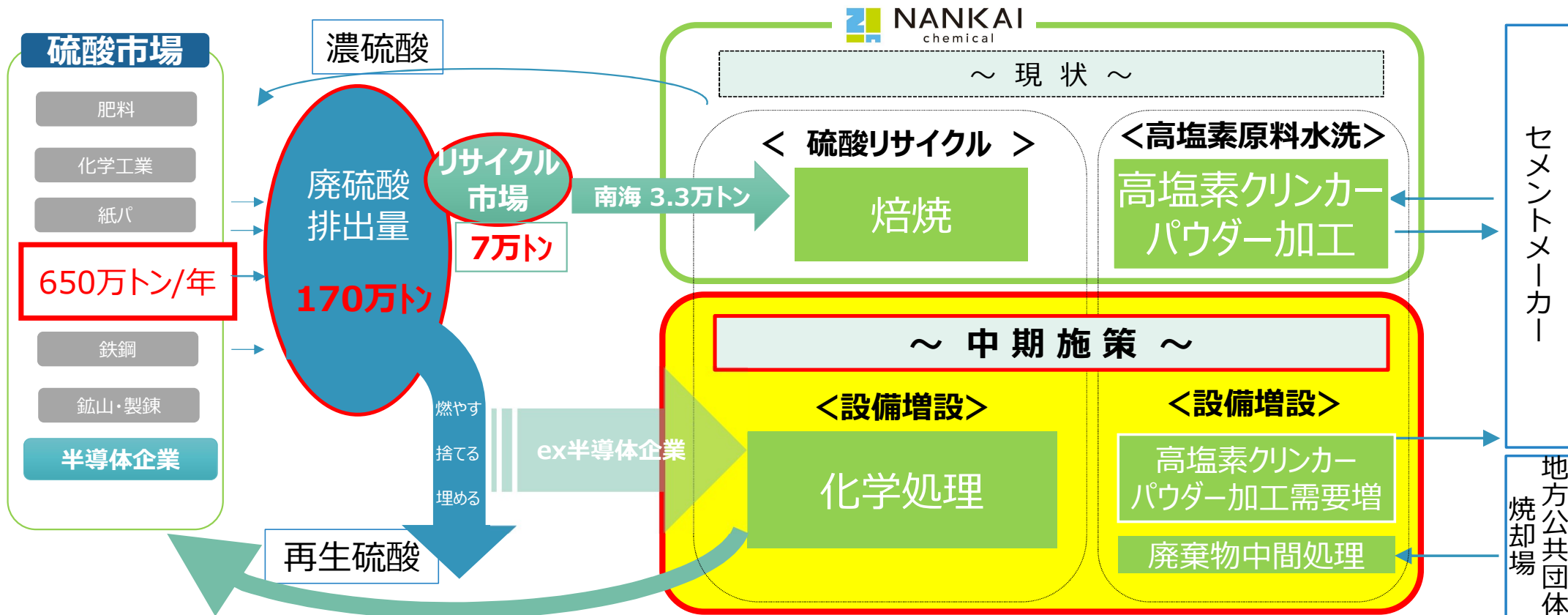


今後の成長ドライバー：環境リサイクル事業領域～事例紹介

- 半導体メーカーとの硫酸リサイクル事業の拡大
- 2023年10月開始の高塩素原料水洗事業の拡大

廃硫酸事業

脱塩事業



中期経営計画 (2025/3～2027/3期)



●スローガン：サステナブルな明日を創る

●重点施策

- ①収益基盤の強化
～強い事業を更に強く
- ②環境リサイクル事業領域拡大
～成長への布石造り
- ③サステナブル経営の推進
～経済価値・社会価値・環境価値の
同時実現

重点施策①：収益基盤の強化～強い事業を更に強く

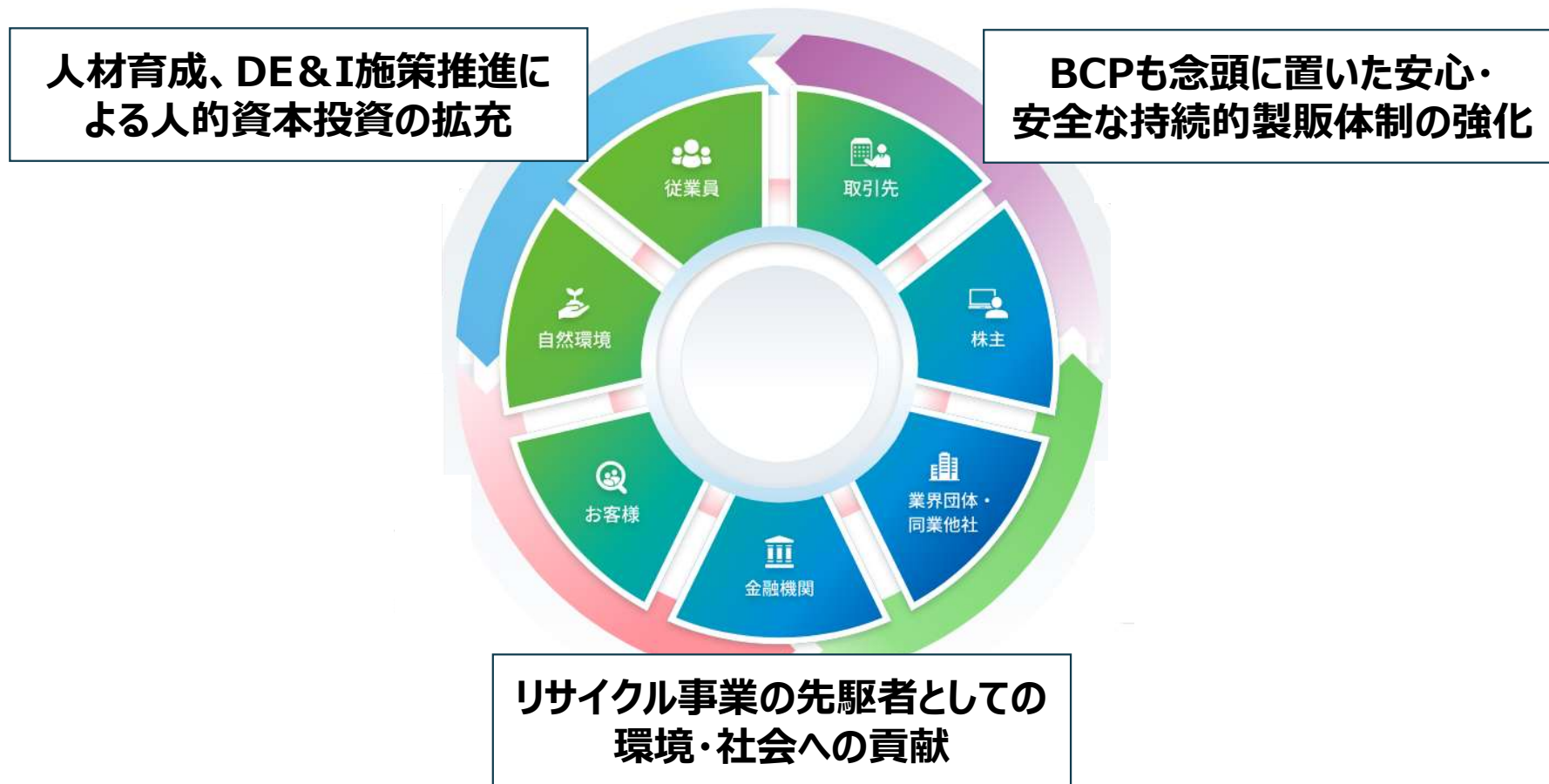
セグメント		事業環境認識	具体施策
化学品事業	基礎化学品	・日本経済の停滞 ・地政学リスクによるサプライチェーンの不安定化、原材料の高騰、2024年物流問題等による更なるコスト増	・高付加価値分野、既存製品高品位化に向けた研究開発推進、リソースシフト ・顧客利便性向上による地域立脚の強化 ・安定供給体制に向けた製品価格の適正化 ・輸出拡大に向けた設備増強（高度さらし粉等）
	機能化学品		
	アグリ	・日本国内の農薬需要停滞	・他企業との連携・パートナー戦略の強化 ・海外市場への展開検討
各種塩事業		・地球温暖化による国内の降雪量減少	・新規用途開発・品質管理・研究開発の強化

重点施策②：環境リサイクル事業領域拡大～成長への布石造り

セグメント		事業環境認識	具体施策	
化学品事業	環境 リサイクル	・国内の半導体製造の伸長 ・廃棄物の再資源化の促進 ・カーボンニュートラルに向けた環境負荷削減・リサイクル需要増	廃硫酸事業	半導体製造企業由来の廃硫酸リサイクルへの取組強化・設備増強
			脱塩事業※	セメントメーカーの脱塩処理需要増に向けた設備増強
			新規事業	廃硫黄回収・全固体電池リサイクル事業のマーケティング・研究開発推進

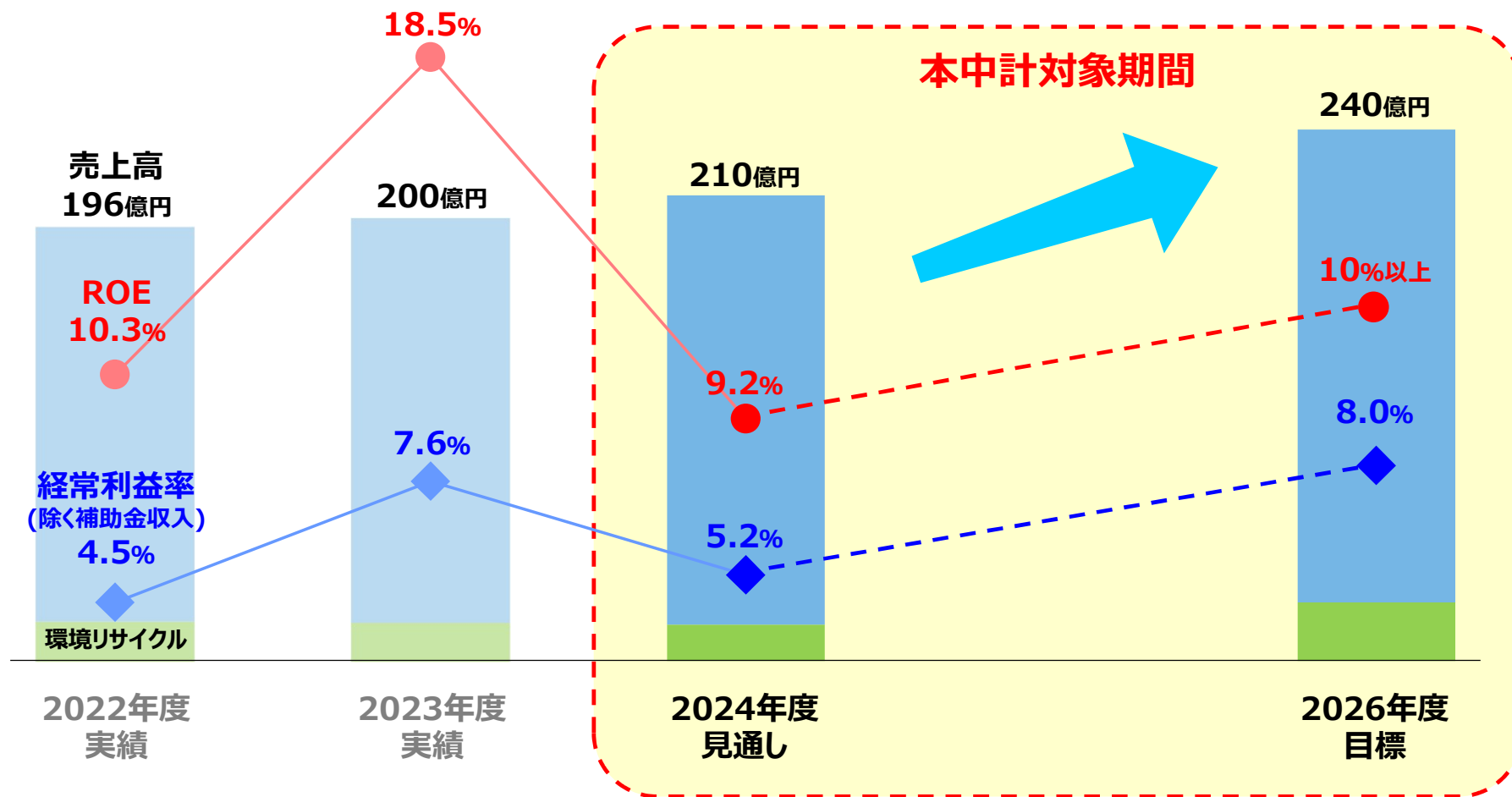
※高塩素含有廃棄物から塩素分を除去し資源化する事業

重点施策③：サステナブル経営の推進 ～経済価値・社会価値・環境価値の同時実現



中期目標

- 2026年度目標：売上高240億円、経常利益率8%、ROE10%以上



設備投資

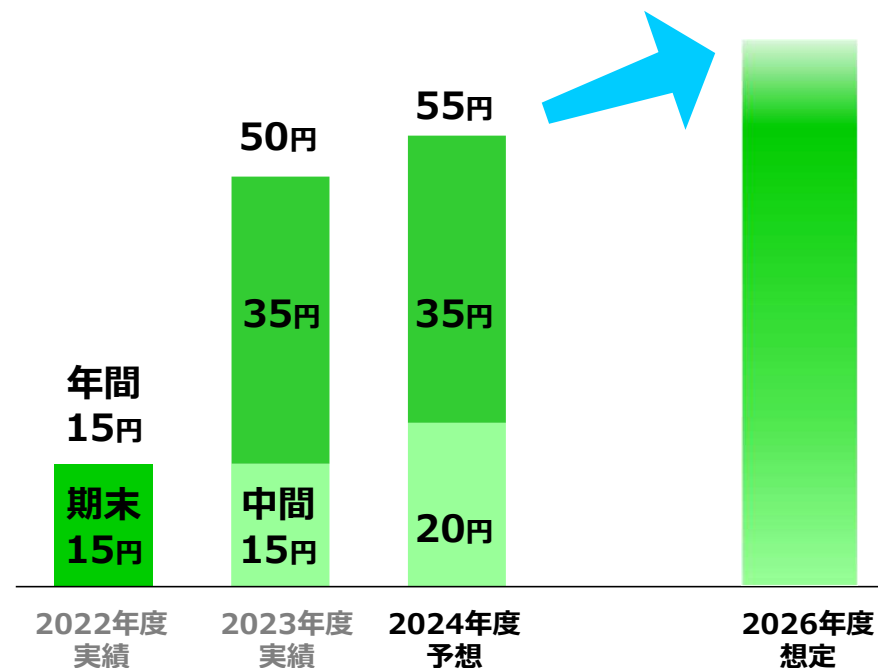
- 維持・更新に加え、基盤強化・成長投資も着実に推進
年間30～40億円の設備投資を実施
- 投資原資は営業CFに加え、一定の借入金も想定

[3年間の配分イメージ]



株主還元

- 株主還元は配当を基本に実施し、安定的・継続的な増配を目指す



2025/3期 中間期決算概要

2025/3期 中間決算概要(対計画)

- 売上高は電解製品や農薬事業の落ち込み等により計画比▲4%
- 利益は化学品事業が牽引し、計画比で営業利益+26%、経常利益+19%、純利益+36%

(百万円)	2025/3期 通期	2025/3期 中間		2025/3期 中間	計画比較	
	予想 (計画)	計画	対通期計画 比率	実績	差	計画比
売上高	21,030	9,190	43.7%	8,788	▲402	▲4.4%
化学品事業	17,130	8,360	48.8%	8,013	▲347	▲4.2%
各種塩事業	3,900	830	21.3%	774	▲56	▲6.7%
営業利益	1,070	410	38.3%	516	+106	+25.9%
化学品事業	2,070	1,035	50.0%	1,178	+143	+13.8%
各種塩事業	190	▲55	—	▲92	▲37	—
調整額(全社費用)	▲1,190	▲570	47.9%	▲569	▲1	▲0.2%
経常利益	1,200	525	※5.7%	623	+98	+18.7%
親会社株主帰属(中間)純利益	720	330	※3.6%	447	+117	+35.5%
経常利益率	5.7%	5.7%	—	7.1%	+1.4%	—

※売上高比率

2025/3期 中間決算概要(対前年)

- 売上高は電解製品・農薬の需要減、並びに梅の不作による塩需要の減少等により前年比▲4%
- 利益は上記の販売減、並びに計画には織り込み済の賃上げによる人件費増、2024年問題に起因する物流費増等により、前年比で営業利益▲42%、経常利益・純利益ともに▲30%

(百万円)	2024/3期 中間		2025/3期 中間		前年同期比較	
	実績	売上高比率	実績	売上高比率	差	前年同期比
売上高	9,142	100.0%	8,788	100.0%	▲354	▲3.9%
化学品事業	8,273	90.5%	8,013	91.2%	▲260	▲3.1%
各種塩事業	868	9.5%	774	8.8%	▲94	▲10.9%
営業利益	891	9.8%	516	5.9%	▲375	▲42.1%
化学品事業	1,315	15.9%	1,178	14.7%	▲137	▲10.4%
各種塩事業	67	7.8%	▲92	▲11.9%	▲159	黒字→赤字
調整額(全社費用)	▲491	—	▲569	—	▲78	▲15.8%
経常利益	890	9.7%	623	7.1%	▲267	▲30.1%
親会社株主帰属中間純利益	642	7.0%	447	5.1%	▲195	▲30.4%
経常利益率	9.7%	—	7.1%	—	▲2.6%	—
ROE	10.7%	—	5.8%	—	▲4.9%	—

株主還元（2024年5月14日の期初公表から変更なし）

- 当面、株主還元は配当で実施。2024/3期から中間配当も実施し、50円に増配。2025/3期は中間配当を5円増配し、現時点では55円を予定
- 従来15円の安定配当を継続してきたが、今後は安定配当をベースとしつつ、配当額の増加および配当性向の向上を目指す

		2023/3期	2024/3期	2025/3期見通し
一株当たり配当額	中間	—	15円	20円
	期末	15円	35円	35円
	合計	15円	50円	55円
一株当たり利益		391.94円	586.71円	364.61円
配当性向		3.8%	8.5%	15.1%

＜ 見通しに関する注意事項 ＞

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部 財務・IRグループ
TEL : 06-6532-5590 (代表)
Mail : 000164zaimu@nankai-chem.co.jp